



適用

- ・2/4ストロークエンジン（複数台同時監視可）
- ・IACSルールM67/M10Iに準拠する設計

コントロールユニット

- ・コントロールユニット1台につきディテクター10台までの連続スキャンが可能
- ・IEC規格IP65に準拠
- ・周囲温度範囲 0-70°C
- ・PRE-ALARM, HI-ALARM（エンジンローダウン・シャットダウン）設定値が変更可能
- ・設定するアラーム回路に問題があっても固定バックアップアラームが異常時には作動
- ・10g 1000Hzにて耐震試験
- ・MODBUSを通してEMS（エンジンモニタリングシステム）との直接通信機能搭載

ディテクター

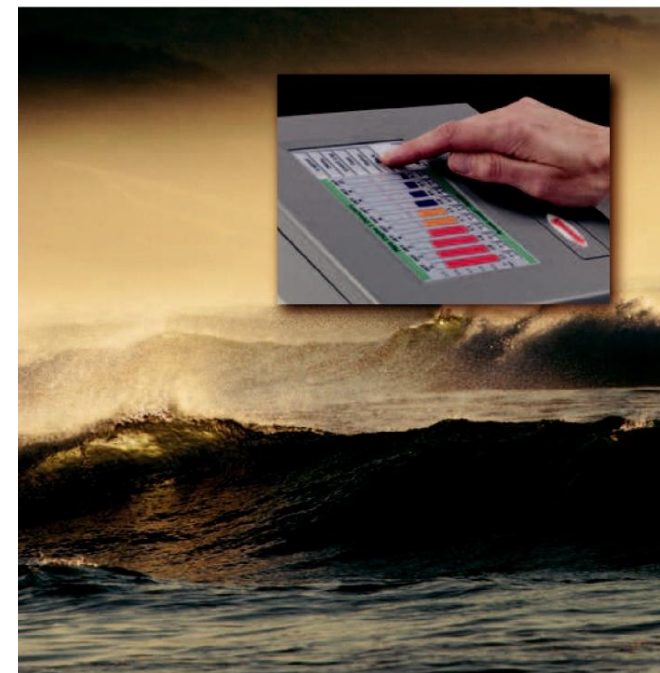
- ・光分散式検出方法
- ・ディテクター設置箇所ごとに個別のオイルミストレベル検出
- ・IEC規格IP65に準拠
- ・周囲温度範囲 0-70°C
- ・10g 1000Hzにて耐震試験

リモートモニター（オプション）

- ・タッチスクリーン方式
- ・ダイナミックディスプレイ
- ・安全な環境下ですべてのデータを装備
- ・パスワード保護機能搭載
- ・MODBUSを経由してコントロールユニットとの通信
- ・IEC規格IP34に準拠
- ・USBポートからPCとの通信・制御が可能



 **Kidde Fire Protection**



GRAVINER

The Graviner Mk7 Oil Mist Detector

Now you can touch the future of oil
Mist detection system

上記仕様はKidde Fire Protection社によって商品開発が継続中のため予告なしに変更する場合があります。

 **Kidde Fire Protection**

Kidde Fire Protection
Thame Park Road, Thame, Oxfordshire OX9 3RT, United Kingdom
Tel: +44(0)1844 265003
Fax: +44(0)1844 265156
Email: general.enquiries@kiddeuk.co.uk
Web: www.kfp.co.uk



The Graviner Mk7 Oil Mist Detector

Now you can touch the future of oil mist detection systems

オイルミストの発火によるクランクケースの爆発は船舶及び乗組員に甚大な悲劇をもたらすものです。船用安全対策機器は秒単位で早期に危険を察知しえるものでなければなりません。

50年前に初めて潜在的な危険が認識され始めて以来、GRAVINER オイルミストディテクター(OMD)は幾千もの船舶でオイルミストレベルの監視に使用され続け、ほとんど全ての船舶を保有する国々へ供給されてきました。

効果的な潤滑を促す機器類は近年のディーゼルエンジンへの信頼と運転の安全に対し絶大な意味を持ちます。

潤滑技術における急速な進歩と最新のコンピュータ技術を駆使した製造技術は近年船用及び陸用のディーゼルエンジン双方に大きな前進をもたらしました。

クランクケース内の機械的な異常の発生は時として避けられないものです。

例えばベアリングシェルにわずかな問題が起こった場合、局部的に高温になり多量のオイルミストが発生します。

このオイルミストを早期に検知しなければクランクシャフトに重大な被害を与える可能性があり、クランクケースの爆発という結果をもたらす得ます。そのような事態になればタイムチャーター契約による遅延、報酬ロス、海難救助の要求、極端な場合には乗組員の重大な怪我・致命傷、そして船自体の喪失にもつながります。

品質保証

Kidde Fire Protection社は品質管理システムとしてISO9001を取得しており製品やシステムに対して以下を含む認証機関の承認を得ています。

- American Bureau of Shipping
- Bureau Veritas
- China Classification Society
- Det Norske Veritas
- Germanischer Lloyd
- Korean Register of Shipping
- Lloyd's Register
- Nippon Kaiji Kyokai
- Polish Register of shipping
- Russian Maritime Register of Shipping

適用

IACSのルール下では、オイルミスト検知システムが下記の条件に対して適用が要求されています。

- 300mm上のボアのエンジン
- 2200KW (2950HP) を超える出力のエンジン
- エンジンルーム内を通常無人にしている場合

システム概略

MK7 OMD はアドレスを自動認識でき、最大10個のディテクターに繋げられるコントロールユニットを最大10台までモニターできるオイルミスト検出システムです。

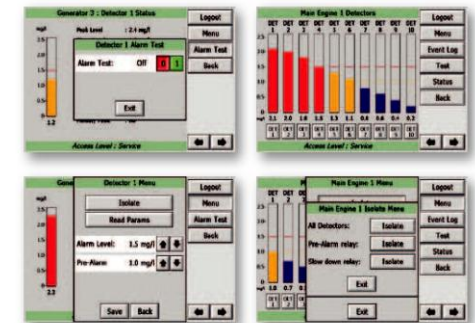
外部へのサンプリングパイプは使用せず、最小限の電線使用量で設置できます。

個々のディテクターヘッドは個別のクランクスペースを監視する機能を持っています。

電源投入時はオイルミスト濃度のデータを集積し、デジタル信号に変換してコントロールユニットへのデータ信号線を介し発信できます。機側に設置されているコントロールユニットには1個から10個までのディテクターからの信号を監視します。

アラームレベルやアラーム出力の設定はコントロールユニットからでもオプションの表示器からでも操作可能です。

GRAVINER



LCD表示器は必要に応じて個々のディテクターから信号や各エンジンのオイルミスト濃度を表示します。

アラームが発生すると直ちに当該エンジンのオイルミストレベルの画面に変わります。

アラーム時は必要に応じてまたは自動的に当該エンジンの個々のディテクター詳細画面に移ることも可能です。

ディテクター故障の際は、エンジンの他のディテクターに影響を与えることなく隔離 (ISOLATE) することができます。

故障したディテクターを交換する間もシステムは正常に運転を継続します。